

経営比較分析表（令和2年度決算）

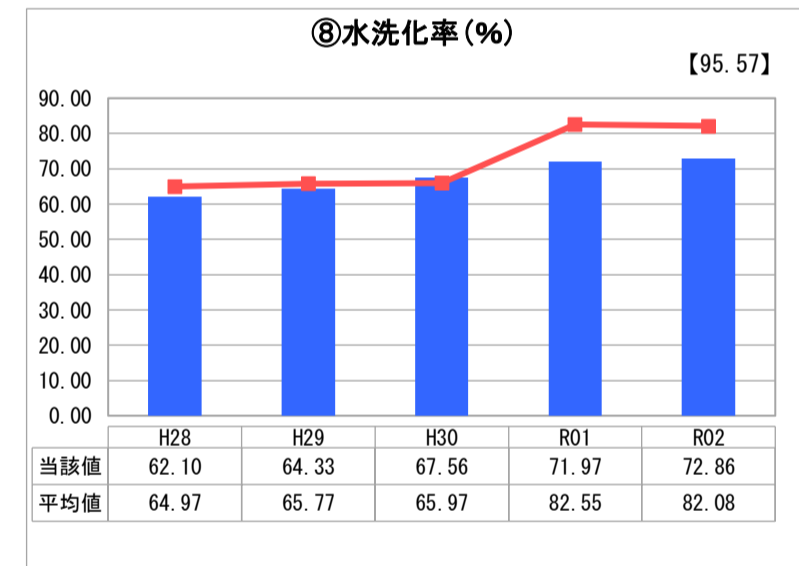
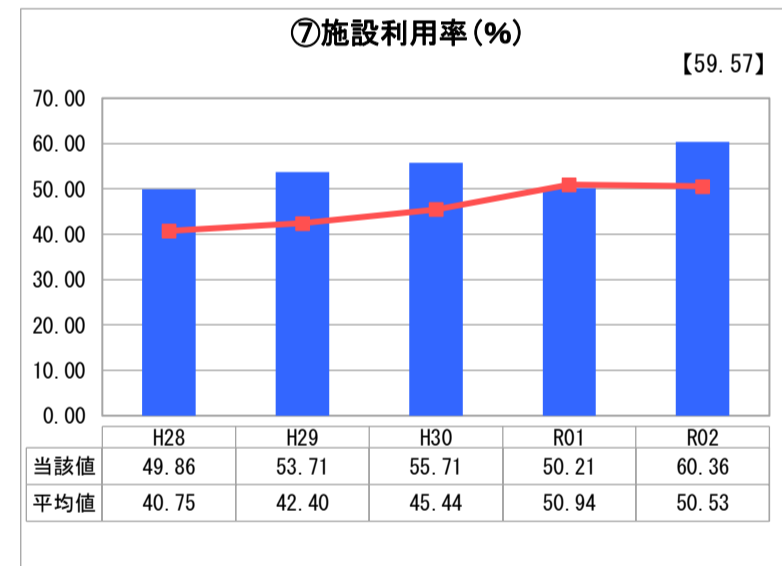
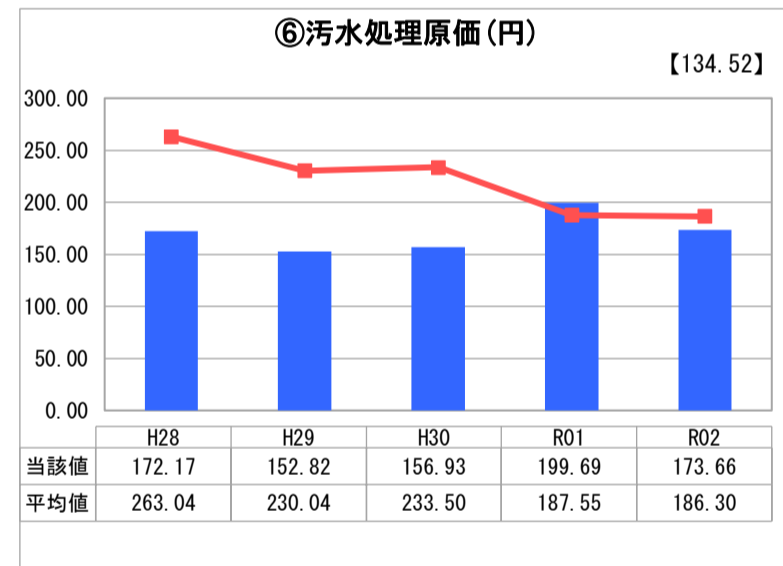
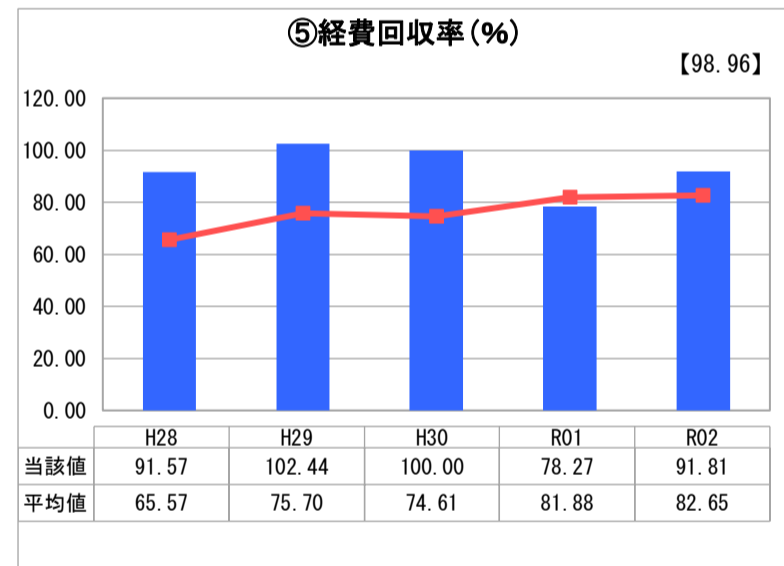
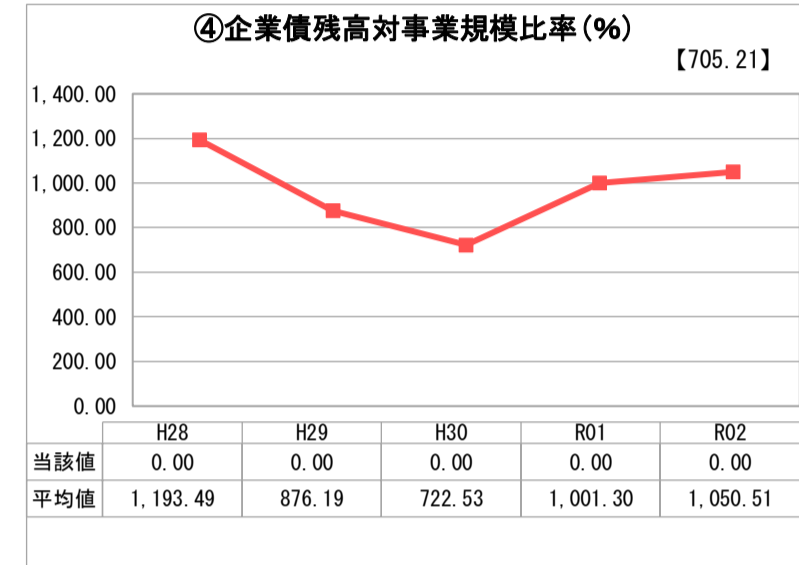
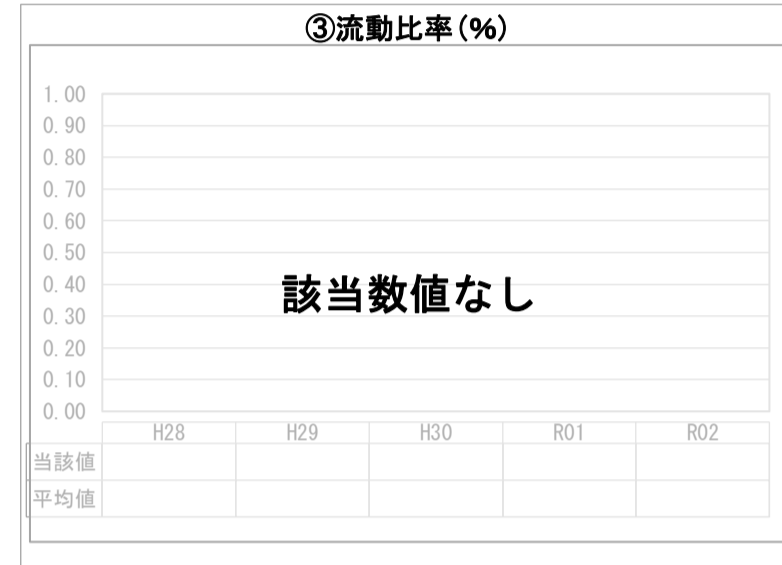
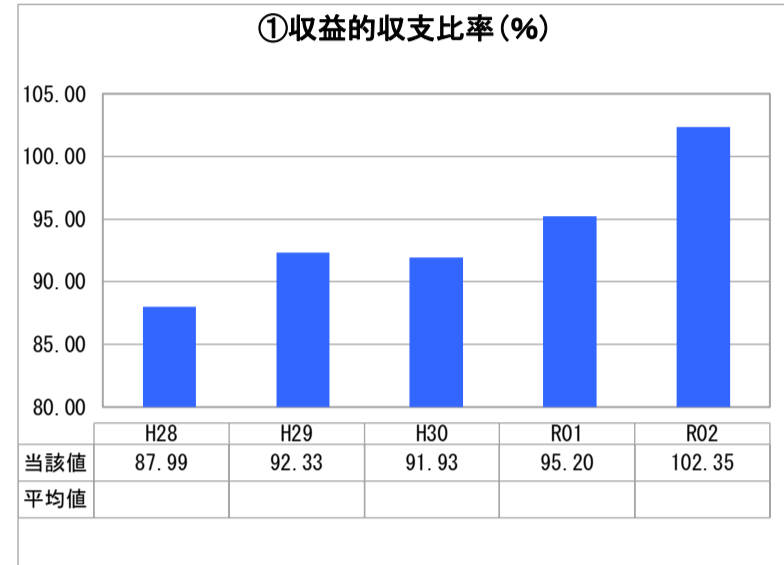
栃木県 芳賀町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	22.73	78.27	2,828

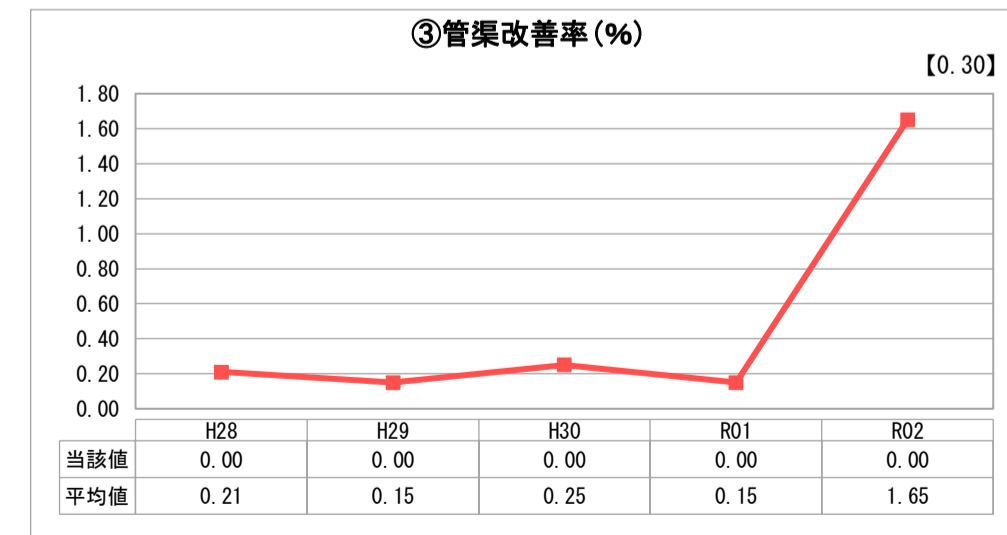
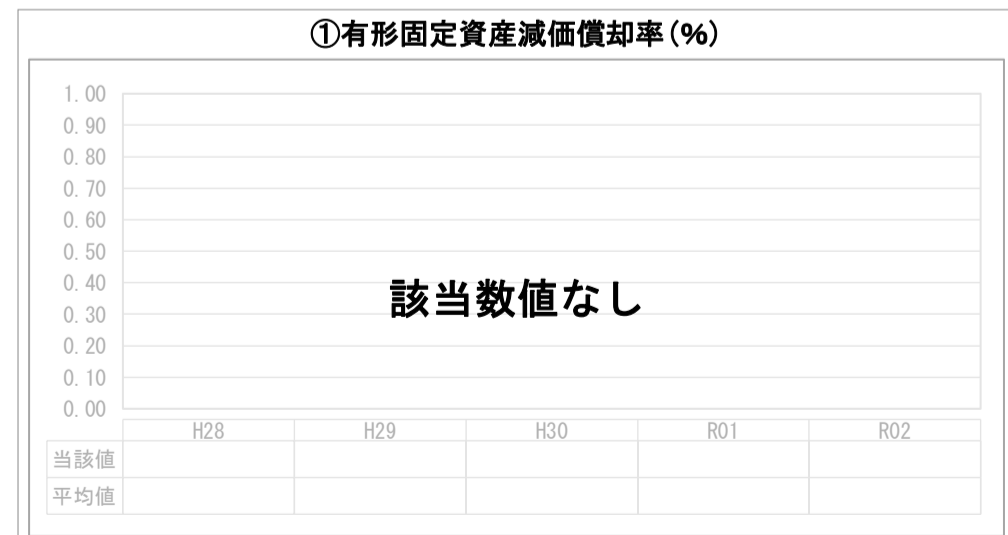
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
15,612	70.16	222.52
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
3,541	0.92	3,848.91

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

芳賀町の公共下水道は、平成16年度に供用開始して以来、現在も整備を進めている事業である。宅地造成事業、区画整理事業と併せた未普及地区への管渠整備を行っており、処理区人口の増加とともに、料金収入は増加していく見込みである。

年度間の収益的収支比率を見てみると、令和2年度は100%を超えたものの、令和元年度は処理施設設備の修繕等を実施したため、95.20%となっている。修繕等の支出が多い年度に関しては100%を下回るが、今後の使用料収入の増加により安定してくる見込みである。突発的な修繕が偏らないよう、計画的に修繕を進め、安定した支出に努めていく。

経費回収率については、処理区人口の増加とともに料金収入が増加することで上昇する見込みである。

水洗化率については、上昇傾向にはあるものの、令和2年度は横ばいとなっている。整備区域を拡大中であることから、接続が追いつかず、低い傾向にある。供用開始後数年経過している地区については、下水道の普及促進に努めていく

2. 老朽化の状況について

供用開始が平成16年度であり、施設や管渠について著しい老朽化は見えていない。

使用年数が比較的浅いことから、更新時期は到来していないが、今後、整備と同時進行で更新計画の検討も必要となってくる。

全体総括

供用開始が平成16年度であり、施設や管渠について著しい老朽化は見えていない。

使用年数が比較的浅いことから、更新時期は到来していないが、今後、整備と同時進行で更新計画の検討も必要となってくる。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。